

平成 28 年 1 月 26 日

薬事・食品衛生審議会

食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会

農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会

農薬・動物用医薬品部会報告について

平成 27 年 12 月 4 日付け厚生労働省発食 1204 第 2 号をもって諮問された、食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）第 11 条第 1 項の規定に基づくチアメトキサムに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

チアメトキサム

今般の残留基準の検討については、関連企業から「国外で使用する農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく残留基準の設定要請がなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：チアメトキサム[Thiamethoxam(ISO)]

(2) 用 途：殺虫剤

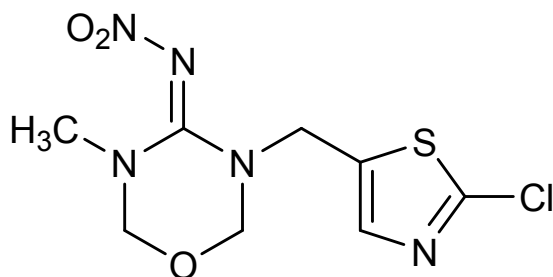
ネオニコチノイド系殺虫剤である。昆虫中枢神経系のニコチン性アセチルコリン受容体に作用することにより殺虫効果を示すと考えられている。

(3) 化学名

(*EZ*)-3-(2-chloro-1,3-thiazol-5-ylmethyl)-5-methyl-1,3,5-oxadiazinan-4-ylidene(nitro)amine (IUPAC)

3-[(2-chloro-5-thiazolyl)methyl]tetrahydro-5-methyl-*N*-nitro-4*H*-1,3,5-oxadiazin-4-imine (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	C ₈ H ₁₀ ClN ₅ O ₃ S
分子量	291.72
水溶解度	4.1 g/L (25°C、pH 7)
分配係数	log ₁₀ Pow = -0.13 (25°C)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

また、たまねぎに係る残留基準の設定についてインポートトレランス申請がされている。

(1) 国内での使用方法

① 10.0%チアメトキシサム顆粒水溶剤

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	チアメトキシムを含む 農薬の 総使用回数
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類	3000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日 前まで	2 回 以内	散布	3 回以内 (は種前の塗沫 処理は 1 回以 内、は種後は 2 回以内)
だいず	アブラムシ類						3 回以内 (は種前の塗沫 処理は 1 回以 内、は種後は 2 回以内)
えだまめ	カメムシ類						
いんげんまめ	アブラムシ類	3000 倍		収穫前日 まで	3 回以内		3 回以内
さやいんげん		2000 倍					
実えんどう				3000 倍			
ばれいしょ		テントウムシダマシ類 ナストビハムシ	2000 倍	収穫 14 日 前まで	3 回 以内	4 回以内 (植付時の作条 混和は 1 回以 内、植付後は 3 回以内)	
	アブラムシ類	750 倍	25 L/10a				
てんさい	テンサイトビハムシ	50～200 倍	ペーパーポ ット 1 冊当 たり 1 L (3 L/m ²)	定植前	1 回	苗床灌 注	5 回以内 (種子への処理 は 1 回以内、苗 床灌注は 1 回以 内、散布は 3 回 以内)
	カメノコハムシ	50 倍					
	アブラムシ類	100 倍					
	テンサイワグサリハバ エ	100～ 200 倍					
		アブラムシ類	3000 倍	100～300 L/10 a	収穫 7 日 前まで	3 回 以内	散布
やまのいも	アブラムシ類	3000 倍	100～300 L/10 a	収穫 7 日 前まで	3 回 以内	4 回以内 (粒剤の処理は 1 回以内、散布は 3 回以内)	
だいこん	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10 a	収穫 7 日 前まで	2 回 以内	3 回以内 (は種時の作条 混和は 1 回以 内、散布は 2 回 以内)	

① 10.0%チアメトキシサム顆粒水溶剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	チアメトキシサムを含む 農薬の 総使用回数
かぶ	アブラムシ類	3000 倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	4 回以内 (は種時の全面 土壌混和は 1 回 以内、散布は 3 回以内)
キャベツ	アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～300 L/10 a	収穫3日 前まで	3 回 以内	散布	4 回以内 (粒剤の処理、 水溶剤及び水和 剤の灌注は合計 1 回以内、水溶 剤及び液剤の散 布は合計 3 回以 内)
はくさい	アブラムシ類	100 倍	セル成型 育苗トレイ1 箱又はペー パーポット 1冊 (30×60 cm、使用 土壌約3 ～4 L) 当 たり0.5 L	育苗期後 半	1 回	灌注	4 回以内 (粒剤の処理、 水溶剤及び水和 剤の灌注は合計 1 回以内、散布 は 3 回以内)
ブロッコリー		3000 倍	100～300 L/10 a	収穫 3 日 前まで	3 回 以内	散布	4 回以内 (粒剤の処理及 び水和剤の灌注 は合計 1 回以 内、散布は 3 回 以内)
カリフラワー		2000～ 3000 倍		収穫 7 日 前 まで			4 回以内 (育苗期の株元 散布は 1 回以 内、散布は 3 回 以内)
非結球 あぶらな科 葉菜類 (こまつな、 ケル、チンゲンサイを 除く)		2000 倍		収穫 3 日 前まで	2 回 以内		2 回以内
こまつな							3 回以内 (は種時の作条 混和は 1 回以 内、は種後は 2 回以内)

① 10.0%チアメトキシサム顆粒水溶剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	チアメトキシサムを含む 農薬の 総使用回数
チンゲンサイ	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10 a	収穫 3 日 前まで	2 回 以内	散布	3 回以内 (定植時の作条 混和は 1 回以 内、散布は 2 回 以内)
しゅんぎく	アブラムシ類 ナメタリハエ			収穫 14 日 前まで	3 回 以内		4 回以内 (は種時の作条 混和は 1 回以 内、散布は 3 回 以内)
レタス	アブラムシ類			収穫 7 日 前まで	2 回 以内		3 回以内 (種子への処 理、水和剤の灌 注及び粒剤の処 理は合計 1 回以 内、散布は 2 回 以内)
ねぎ	ネギアザミハ ネギハメタリハエ	1000～ 2000 倍	100～300 L/10 a	収穫 3 日 前まで	3 回 以内		4 回以内 (は種時及び植 付時の作条混和 は合計 1 回以 内、散布は 3 回 以内)
わけぎ							4 回以内 (植付時の作条 混和は 1 回以 内、植付後は 3 回以内)
にら	ネギアザミハ	2000 倍		収穫 14 日 前まで			
モロヘイヤ				収穫 7 日 前まで			
アスパラガス				収穫前日 まで			
ほうれんそう	アブラムシ類				収穫 3 日 前まで		2 回 以内

① 10.0%チアメトキシサム顆粒水溶剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	チメキシムを含む 農薬の 総使用回数		
トマト	コナジラミ類	2000 倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	4 回以内 (育苗期の株元 散布及び定植時 の植穴処理は合 計 1 回以内、散 布は 3 回以内)		
ミニトマト					2 回 以内		3 回以内 (育苗期の株元 散布及び定植時 の植穴処理は合 計 1 回以内、散 布は 2 回以内)		
なす	アブラムシ類 コナジラミ類	3000 倍			2000 倍		3 回 以内	4 回以内 (種子への処理、 育苗期の株元散 布及び定植時の 植穴処理は合計 1 回以内、散布は 3 回以内)	
	ミナミキイロアザミウマ マメハモクグリハエ テントウムシダマシ類	2000 倍						4 回以内 (種子への処理 及び定植時の植 穴処理は合計 1 回以内、散布は 3 回以内)	
ピーマン	ミナミキイロアザミウマ	3000 倍			4 回以内 (種子への処理 及び定植時の植 穴処理は合計 1 回以内、散布は 3 回以内)				
	アブラムシ類 コカイガラムシ類 マメハモクグリハエ				4 回以内 (定植時の植穴 処理は 1 回以内、 散布は 3 回以内)				
ししとう	アブラムシ類				4 回以内 (定植時の植穴 処理は 1 回以内、 散布は 3 回以内)				
とうがらし類 (ししとうを 除く)					4 回以内 (種子への処理 及び定植時の植 穴処理は合計 1 回以内、散布は 3 回以内)				
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類	3000 倍			2000 倍			150～300 L/10 a	4 回以内 (種子への処理 及び定植時の植 穴処理は合計 1 回以内、散布は 3 回以内)
	ミナミキイロアザミウマ	2000 倍							4 回以内 (定植時の植穴 処理は 1 回以内、 散布は 3 回以内)
メロン	アブラムシ類	3000 倍	2000 倍	100～300 L/10 a	4 回以内 (育苗期の株元 散布及び定植時 の植穴処理は合 計 1 回以内、散 布は 3 回以内)				
	ミナミキイロアザミウマ トマトハモクグリハエ	2000 倍			4 回以内 (定植時の植穴 処理は 1 回以内、 散布は 3 回以内)				
すいか	ミナミキイロアザミウマ	3000 倍	100～300 L/10 a	収穫 7 日 前まで	3 回以内				
	アブラムシ類				3000 倍	3 回以内			
にがうり	ワタアブラムシ	2000 倍							

① 10.0%チアメトキシサム顆粒水溶剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	チアメトキシムを含む 農薬の 総使用回数
食用へちま	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
オクラ				収穫 14 日 前まで			
エンサイ				収穫 7 日 前まで	2 回 以内		
しそ		収穫 3 日 前まで					
うこぎ		3000 倍		収穫 21 日 前まで	3 回 以内		散布、た だし花穂 の発生期 にはマルチ フィルム被覆 により散 布液が直 接花穂に 飛散しな い状態で 使用する
セージ	収穫前日 まで						
みょうが (花穂)	コナカイガラムシ類	2000 倍		みょうが (花穂)の 収穫前日 まで ただし、 花穂を収 穫しない 場合にあ っては開 花期終了 まで		散布	

① 10.0%チアメトキシサム顆粒水溶剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	チアメトキシサムを含む 農薬の 総使用回数	
かんきつ	ゴマダラカミ成虫	4000 倍	200～700 L/10 a	収穫 14 日 前まで	3 回 以内	散布	3 回以内	
	アブラムシ類	3000 倍						
	コナカイラムシ類 ミカンハモグリガ コオオハナムグリ ゲキスイ類	2000～ 3000 倍						
	アザミウマ類 ロウムシ類 カメシ類 ミカンハエ ミカンジラミ	2000 倍						
なし	アブラムシ類 チュウゴクナシジラ ミ	3000 倍		収穫前日 まで				
	シクイムシ類 コナカイラムシ類 カメシ類	2000 倍						
もも ネクタリン	アブラムシ類	3000 倍						2000～ 3000 倍
	モモハモグリガ	2000～ 3000 倍						
	シクイムシ類 ミカンキイロアザミウマ カメシ類	2000 倍						
おうとう	オウトウショウジョウ ハエ カメシ類			収穫 7 日 前まで	2 回 以内			
りんご	アブラムシ類 ギンモンハモグリガ キンモンホリガ コナカイラムシ類	2000～ 3000 倍						
	シクイムシ類 カメシ類	2000 倍						
	リンゴワタムシ	3000 倍						
小粒核果類 (うめを除く)	アブラムシ類	2000 倍						
うめ		2000～ 3000 倍						
		カメシ類						2000 倍

① 10.0%チアメトキシサム顆粒水溶剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	アクトランを含む 農薬の 総使用回数
ぶどう	コナカイラムシ類 チャノキイロアザミウマ	2000 倍	200～700 L/10 a	収穫 7 日 前まで	2 回 以内	散布	2 回以内
	フタテンヒメヨコバイ	2000～ 3000 倍					
かき	アザミウマ類 カメムシ類 コナカイラムシ類 キノハタムシカ	2000 倍		収穫 3 日 前まで	3 回 以内		3 回以内
いちじく	アザミウマ類			収穫前日 まで	2 回 以内		2 回以内
マンゴー				収穫 14 日 前まで			
アセロラ	アブラムシ類			収穫 7 日 前まで	3 回 以内 2 回 以内		3 回以内
バナナ	バナナツヤオサザウム シ						2 回以内
グアバ (果実)	バンジロウツノエダ リヒメハキ						2 回以内
茶	チャノキイロアザミウマ	2000～ 3000 倍	200～400 L/10a	摘採 7 日 前まで	1 回	1 回	
	チャノミドリヒメヨコ バイ						
	コミカンアブラムシ ツマゲロアオカスミカメ	3000 倍					

② 0.50%チアメトキシサム粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アミダチンを含む農薬の総使用回数
かんしょ	アブラムシ類	6kg/10a	育苗期	1回	株元散布	1回
	コナネムシ類幼虫	6～9 kg/10 a	植付時		作条混和	
全面土壌混和						
さといも	アブラムシ類	6 kg/10 a			作条混和	4回以内 (植付時の作条混和は1回以内、植付後は3回以内)
ばれいしょ		2～6 kg/10 a				
こんにゃく		6 kg/10 a	培土時 (ただし、出芽前まで)		株元散布	1回

② 0.50%チアメトキサム粒剤 (つづき)

[illegible]

② 0.50%チアメトキシサム粒剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキシムを含む農薬の総使用回数	
チンゲンサイ	アブラムシ類 ハモグリバエ類	6 kg/10 a	定植時	1 回	作条混和	3 回以内 (定植時の作条混和は 1 回以内、散布は 2 回以内)	
ブロッコリー	アオムシ コナガ ハイマダラノメカイガ	株当たり 2 g	育苗期後半		株元散布	4 回以内 (粒剤の処理及び水和剤の灌注は合計 1 回以内、散布は 3 回以内)	
カリフラワー	アブラムシ類	株当たり 0.5 g				4 回以内 (育苗期の株元散布は 1 回以内、散布は 3 回以内)	
しゅんぎく	アブラムシ類 ハモグリバエ類	6 kg/10 a	は種時		作条混和	4 回以内 (は種時の作条混和は 1 回以内、散布は 3 回以内)	
レタス	アブラムシ類	株当たり 0.5 g	育苗期後半		株元散布	3 回以内 (粒剤の処理及び水和剤の灌注は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)	
	ハモグリバエ		培土 1 L 当たり 15 g		は種前		床土混和
非結球レタス	アブラムシ類	株当たり 0.5 g	育苗期後半		株元散布	1 回	
	ハモグリバエ		培土 1 L 当たり 15 g		は種前		床土混和
ねぎ	ネギアザミウマ	6 kg/10 a	は種時		作条混和		4 回以内 (は種時及び植付時の作条混和は合計 1 回以内、散布は 3 回以内)
	ネギハモグリバエ	6～9 kg/10 a	植付時				
わけぎ							
あさつき							
セルリー	ハモグリバエ	株当たり 2 g		鉢上時			
	定植時		植穴処理				

② 0.50%チアメトキシサム粒剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ファメトキシムを含む農薬の総使用回数
れんこん	クワイヒレアブラムシ	6 kg/10 a	収穫 14 日前まで	3 回以内	湛水散布	3 回以内
トマト	ハモグリバエ類	株当たり 1～2 g	定植時 育苗期後半	1 回	植穴処理	4 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の植穴処理は合計 1 回以内、散布は 3 回以内)
	コナジラミ類	株当たり 1 g			株元散布	
ミニトマト	ハモグリバエ類	株当たり 1～2 g	定植時 育苗期後半		植穴処理	3 回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の植穴処理は合計 1 回以内、散布は 2 回以内)
	コナジラミ類				株元散布	
なす	ミナキイロアザミウマ マメハモグリバエ コナジラミ類	株当たり 1 g	定植時 育苗期後半		植穴処理	4 回以内 (種子への処理、育苗期の株元散布及び定植時の植穴処理は合計 1 回以内、散布は 3 回以内)
	アブラムシ類				株元散布	
	ミナキイロアザミウマ	株当たり 2 g	定植時			
ピーマン	ミナキイロアザミウマ	株当たり 2 g	定植時		植穴処理	4 回以内 (種子への処理及び定植時の植穴処理は合計 1 回以内、散布は 3 回以内)
	アブラムシ類	株当たり 1 g				4 回以内 (定植時の植穴処理は 1 回以内、散布は 3 回以内)
きゅうり						アブラムシ類 コナジラミ類 トマトハモグリバエ
ほうれんそう	アブラムシ類	6 kg/10 a				は種時
すいか		株当たり 2 g	定植時		植穴処理	4 回以内 (定植時の植穴処理は 1 回以内、散布は 3 回以内)

② 0.50%チアメトキシサム粒剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アトキサムを含む農薬の総使用回数
すいか	アブラムシ類	株当たり 2 g	定植時	1 回	植穴処理	4 回以内 (定植時の植穴処理は 1 回以内、散布は 3 回以内)
いちご		株当たり 1 g		2 回以内		4 回以内 (定植時の植穴処理は 2 回以内、散布は 2 回以内)
メロン	ハモグリバエ類	株当たり 2 g		1 回		4 回以内 (種子への処理及び定植時の植穴処理は合計 1 回以内、散布は 3 回以内)
	アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ	株当たり 1 g				
かんきつ (苗木)	ミカンハモグリガ	樹当たり 20～40 g	育苗期	2 回以内	株元散布	3 回以内
	コナカイガラムシ類 ミカンキジラミ	樹当たり 20 g				

0.50%チアメトキシサム粒剤（つづき）

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキシサムを含む農薬の総使用回数
せり	水田	アブラムシ類	3 kg/10 a	親株養成期 ただし、 収穫 100 日前まで	1 回	湛水散布	1 回

③ 2.0%チアメトキシサム粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキシサムを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネトオムシ	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌 約 5 L)1 箱当 たり 50 g	移植前 3 日 ～移植当日	1 回	育苗箱中の 苗の上から 均一に散布 する	3 回以内 (育苗箱への処理 は 1 回以内、本田 では 2 回以内)

④ 2.0%チアメトキサム・12.0%ピロキロン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネトオモイシ いもち病	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌 約5 L)1箱当 たり 50 g	移植前3 日～移植 当日	1回	育苗箱中の 苗の上から 均一に散布 する	3回以内 (育苗箱への処理 は1回以内、本田 では2回以内)
	イネコマムシ ニカメイチュウ		移植当日			

⑤ 30.0%チアメトキサムフロアブル

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
だいず えだまめ	アブラムシ類 タネバエ ネキリムシ類 フタスジヒメハムシ	乾燥種子 1 kg 当たり 原液 6 mL	は種前	1 回	塗沫処理	3 回以内 (は種前の塗沫処理は 1 回以内、は種後は 2 回以内)
いんげんまめ	アブラムシ類 タネバエ					1 回
豆類 (種実、ただし、らっかせい、だいず、いんげんまめを除く)						
とうもろこし (子実)						
未成熟 とうもろこし	ハリガネムシ類 タネバエ					3 回以内 (は種前の塗沫処理は 1 回以内、は種後は 2 回以内)

⑥ 10.0%チアメトキサム・5.0%ルフェヌロン顆粒水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
りんご	クロカキガラムシ ハマキムシ類 シンクイムシ類 ヨモギエダシヤク	2000倍	200～700 L/10 a	収穫14日 前まで	2回 以内	散布	2回以内
	ギンモンハモグリガ キンモンホリガ アブラムシ類 リンゴサビダニ	2000～ 3000倍					

⑥ 10.0%チアメトキシサム・5.0%ルフェヌロン顆粒水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	チアメトキシムを含む 農薬の 総使用回数
みかん	チャノキイロアザミウマ アゲハ類 ミカンモグリガ ミカンサビダニ	2000～ 3000 倍	200～700 L/10 a	収穫 14 日 前まで	3 回 以内	散布	3 回以内
かんきつ (みかんを除 く)	ゴマダラカミクリ成 虫			収穫 21 日 前まで	1 回		
茶	チャノホリガ チャノミドリヒメヨ バイ チャノキイロアザミウマ ヨモギエダシヤク チャハマキ チャノコカクモンハマキ	2000 倍	200～400 L/10 a	摘採 7 日 前まで			

⑦ 0.005%チアメトキシサム液剤

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	アミタムを含む 農薬の 総使用回数
えだまめ だいず	アブラムシ類	原液	収穫 7 日前 まで	2 回以内	散布	3 回以内 (は種前の塗沫処理は 1 回 以内、は種後は 2 回以内)
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類		収穫前日 まで	3 回以内		4 回以内 (種子への処理及び定植 時の植穴処理は合計 1 回 以内、散布は 3 回以内)
なす	コナジラミ類 マメハモグリバエ					4 回以内 (種子への処理、育苗期の 株元散布及び定植時の植 穴処理は合計 1 回以内、 散布は 3 回以内)
トマト	アブラムシ類	原液				4 回以内 (育苗期の株元散布及び 定植時の植穴処理は合計 1 回以内、散布は 3 回以 内)
ピーマン						4 回以内 (種子への処理及び定植 時の植穴処理は合計 1 回 以内、散布は 3 回以内)

⑦ 0.005%チアメトキシサム液剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	チアメトキシサムを含む 農薬の 総使用回数
キャベツ	アブラムシ類	原液	収穫3日前 まで	3回以内	散布	4回以内 (粒剤の処理、水溶剤及び 水和剤の灌注は合計1回 以内、水溶剤及び液剤の 散布は合計3回以内)
かんきつ	コナカイラムシ類 カメムシ類		収穫14日 前まで			3回以内
うめ	アブラムシ類		収穫7日前 まで	2回以内		2回以内

⑧ 8.0%チアメトキシサム・12.0%ピロキロン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用 時期	本 剤 の 使用回数	使用方法	チアメトキシサムを含む 農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	ツマグロヨコバイ コメテユウ	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌 約5 L)1箱当 たり 50 g	移植当日	1回	育苗箱中の 苗の上から 均一に散布 する	3回以内 (育苗箱への処理 は1回以内、本田 では2回以内)
	カメムシ類 ウンカ類 イネミスズハムシ いもち病		移植前3 日～移植 当日			

⑨ 0.0050%チアメトキシサム・0.00050%エマメクチン安息香酸塩・0.0050%ジフェノコナ
ゾール液剤

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	チアメトキシサムを含む 農薬の 総使用回数
トマト	アブラムシ類 葉かび病	原液	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び 定植時の植穴処理は合計 1回以内、散布は3回以内)
なす	アブラムシ類 コナジラミ類 ハダニ類			2回以内		4回以内 (種子への処理、育苗期の 株元散布及び定植時の植 穴処理は合計1回以内、 散布は3回以内)

⑨ 0.0050%チアメトキサム・0.00050%エマメクチン安息香酸塩・0.0050%ジフェノコナゾール液剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	チアメトキサムを含む 農薬の 総使用回数
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類 うどんこ病	原液	収穫前日まで	2回以内	散布	4回以内 (種子への処理及び定植時の植穴処理は合計1回以内、散布は3回以内)
キャベツ	アオムシ		収穫14日前まで	3回以内		4回以内 (粒剤の処理、水溶剤及び水和剤の灌注は合計1回以内、水溶剤及び剤剤の散布は合計3回以内)
いちご	アブラムシ類 ハダニ類 うどんこ病		収穫前日まで	2回以内		4回以内 (定植時の植穴処理は2回以内、散布は2回以内)

⑩ 21.4%チアメトキサムフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	チアメトキサムを含む 農薬の 総使用回数
稲	カメムシ類	5000倍	100～150 L/10 a	収穫21 日前まで	2回以 内	散布	3回以内 (育苗箱への処理は1回以内、 本田では2回以 内)

⑪ 6.5%チアメトキサム・8.0%アゾキシストロビンフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	チアメトキサムを含む 農薬の 総使用回数
稲	いもち病 カメムシ病	250倍	25 L/10 a	収穫14 日前まで	2回以 内	散布	3回以内 (育苗箱への処理は1回以内、 本田では2回以 内)
	いもち病 紋枯病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	1000倍	60～150 L/10 a				
	いもち病 紋枯病 カメムシ類	8倍	800 mL/10 a			無人 ヘリコプター による 散布	

⑫ 17.5%チアメトキシサム・8.7%クロラントラニリプロールフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	チアメトキシムを含む 農薬の 総使用回数
キャベツ	アブラムシ類 アオムシ ハイマダラノメイガ ネギアザミウマ ハスモンヨトウ コナガ ネキリムシ類	1000 倍	苗地床 1m ³ 当 たり 2 L	は種時～ 育苗期後 半	1 回	灌注	4 回以内 (粒剤の処理、水 溶剤及び水和剤 の灌注は合計 1 回以内、水溶剤 及び液剤の散布 は合計 3 回以 内)
	ヨトウムシ			は種時			
	アブラムシ類 ネギアザミウマ コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ	200 倍	セル成型育 苗トレイ1箱 又はペー パーポット1 冊(約 30×60cm ・使用土 壌約1.5 ～4 L) 当たり 0.5 L	育苗期 後半～ 定植当日			
はくさい	アブラムシ類 コナガ ハイマダラノメイガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ キスジノミハムシ カブラハバチ	4000 倍	100～300 L/10 a	収穫 3 日 前まで	3 回以 内	散布	4 回以内 (粒剤の処理、水 溶剤及び水和剤 の灌注は合計 1 回以内、散布は 3 回以内)
	コナガ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ アブラムシ類						
ブロッコリー	アブラムシ類 ネギアザミウマ コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ	200 倍	セル成型育 苗トレイ1箱 又はペー パーポット1 冊(約 30×60cm ・使用土 壌約1.5 ～4 L) 当たり 0.5 L	育苗期 後半～ 定植当日	1 回	灌注	4 回以内 (粒剤の処理及 び水和剤の灌注 は合計 1 回以 内、散布は 3 回 以内)
レタス	アブラムシ類 カブラヤガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ オオタバコガ ナモグリバエ ヒメフタテンヨコバイ						3 回以内 (種子への処理、 水和剤の灌注及 び粒剤の処理は 合計 1 回以内、 散布は 2 回以 内)
非結球レタス							1 回

⑬ 22.6%チアメトキシサム・1.1%フルジオキシニル・1.7%メタラキシルMフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	チアメトキシサムを含む 農薬の 総使用回数
いんげんまめ	苗立枯病(ピシム菌) リゾクトニア根腐病 アブラムシ類 タネハエ	原液	乾燥種子 1kg当たり 8 mL	は種前	1 回	塗沫 処理	3 回以内 (は種前の塗沫 処理は 1 回以 内、は種後は 2 回以内)
あずき	茎疫病 タネハエ アブラムシ類						1 回
だいず えだまめ	ハト キジハト						3 回以内 (は種前の塗沫 処理は 1 回以 内、は種後は 2 回以内)
	苗立枯病(ピシム菌) 紫斑病 茎疫病 黒根腐病 リゾクトニア根腐病 アブラムシ類 タネハエ ネキリムシ類 フタスジヒメハムシ						
てんさい	苗立枯病(リゾク トニア菌) 苗立枯病(ピシム菌) テンサイヒメハムシ		乾燥種子 1ユニット(約 10万粒) 当たり 6 mL				5 回以内 (種子への 処理は 1 回以 内、苗床灌注は 1 回以内、散布 は 3 回以内)

⑭ 8.0%チアメトキシサム粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使 用 時 期	本剤の 使用 回数	使用方法	チアメトキシサムを含む 農薬の 総使用回数
稲 (箱育苗)	カメムシ類 ウンカ類 イネミズゾウムシ イネトヨイムシ	育苗箱 (30×60×3 cm、使用土壌 約 5 L)1 箱当 たり 50 g	移植 3 日 前～移植 当日	1 回	育苗箱中の 苗の上から 均一に散布 する	3 回以内 (育苗箱への処理 は 1 回以内、本田 では 2 回以内)
	ニカメイチュウ ツマグロヨコバイ		移植当日			

⑮ 48.0%チアメトキシサムフロアブル

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	チアメトキシサムを含む 農薬の 総使用回数
なす	アブラムシ類	原液	乾燥種子 1000粒 当たり 0.83 mL	は種前	1回	種子処 理機に よる塗 沫処理	4回以内 (種子への処理、 育苗期の株元散 布及び定植時の 植穴処理は合計 1回以内、散布 は3回以内)
ピーマン きゅうり メロン			乾燥種子 1000粒 当たり 0.83 mL ～1.67 mL				4回以内 (種子への処理 及び定植時の植 穴処理は合計1 回以内、散布は 3回以内)
レタス	アブラムシ類 ハモグリバエ類		乾燥種子 1000粒 当たり 0.83 mL ～ 1.66 mL				3回以内 (種子への処理、 水和剤の灌注及 び粒剤の処理は 合計1回以内、 散布は2回以 内)
ほうれんそう	アブラムシ類		乾燥種子 1000粒 当たり 0.083 mL ～ 0.17 mL				3回以内 (種子への処理 及びは種時の作 条混和は合計1 回以内、散布は 2回以内)

⑯ 0.5%チアメトキシサム・0.5%テフルトリン粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	チアメトキシサムを含む 農薬の 総使用回数
にんじん	ネキリムシ類	6 kg/10 a	は種時	1回	全面土壌混 和	1回

(2) 海外での使用方法

① 25.0%チアメトキシサム顆粒水和剤 (米国)

作物名	適用病害虫名		1 回当たりの使用量	総使用量	使用時期	使用方法
リーフレタス	アブラムシ類 ノミハムシ類 ヨコバイ類		1.5～3.0 oz/A	11.0 oz/A (0.172 lb ai/A)	収穫 7 日前 まで	散布
	コナジラミ類		3.0～5.5 oz/A			
りんご	開 花 前	ユキヤナギアブラムシ リンゴクビレアブラムシ モモアカアブラムシ ハモグリバエ類 Mullein Bug (カスミカメシ科 <i>Campylomma</i> 属 の一種) オオハコアブラムシ	4.5 oz/A	16.5 oz/A (0.258 lb ai/A)	収穫 35 日前 まで	
		ヨコバイ類	2.0～2.75 oz/A		収穫 14 日前 まで	
	開 花 後	ユキヤナギアブラムシ リンゴクビレアブラムシ ヨーロッパリンゴアブラムシ モモアカアブラムシ ハモグリバエ類 スモゾウリムシ	4.5～5.5 oz/A		収穫 35 日前 まで	
なし	ナシジラミ		5.5 oz/A	16.5 oz/A (0.258 lb ai/A)	収穫 35 日前 まで	散布
	ヨコバイ類		2.0～2.75 oz/A	16.5 oz/A (0.258 lb ai/A)	収穫 14 日前 まで	散布
	開 花 前	ユキヤナギアブラムシ	4.5～5.5 oz/A		収穫 35 日前 まで	
	開 花 後	ユキヤナギアブラムシ クワコナカイガラムシ スモゾウリムシ				

② 47.6%チアメトキシサム水和剤（米国）

作物名	適用病害虫名	1 回当たりの使用量	本剤の使用回数	使用時期	使用方法
綿実 (繊維を取り除いたもの)	ワタアブラムシ ネギアザミウマ ミカンキロアザミウマ ハリガネムシ類 ワタノミハムシ カスミカムシ類	0.30-0.34 mg ai /seed	1 回	は種前	種子処理

③ 21.6%チアメトキシサム水和剤（米国）

作物名	適用病害虫名	1 回当たりの使用量	本剤の使用回数	使用時期	使用方法
ホップ	garden symphylan (<i>Scutigerella</i> <i>immaculata</i> 、コムカデの 一種) hop aphid (<i>phorodon humuli</i>) root weevils	8.0 fl. oz. /A	1 回	収穫 65 日前 まで	湛水散布

④ 70.0%チアメトキシサム水和剤（米国）

作物名	適用病害虫名	1 回当たりの使用量	本剤の使用回数	使用時期	使用方法
たまねぎ	アブラムシ類 ハモグリバエ類 タネバエ ハリガネムシ類	0.05-0.20 mg ai /seed	1 回	収穫 120 日前 まで	種子処理

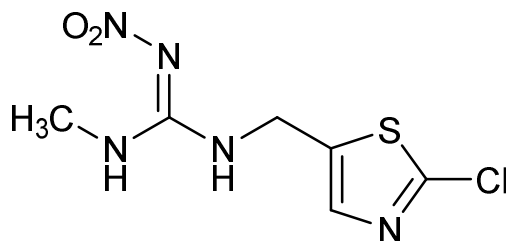
ai : active ingredient (有効成分)

3. 作物残留試験

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

- ・チアメトキサム
- ・(E)-1-(2-クロロ-1,3-チアゾール-5-イルメチル)-3-メチル-2-ニトログアニジン (クロチアニジン) (以下、代謝物Bという)



代謝物 B

② 分析法の概要

【国内】

試料からアセトン又はアセトン・水（4：1）混液で抽出し、多孔性ケイソウ土カラム、ベンゼンスルホニルプロピルシリル化シリカゲル（SCX）カラム、中性アルミナカラム及びグラファイトカーボン・NH₂積層カラム等又はC₁₈カラムあるいはグラファイトカーボンカラムを用いて精製した後、高速液体クロマトグラフ（UV）、液体クロマトグラフ・質量分析計（LC-MS 又は LC-MS/MS）で定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、ヘキサンで洗浄後酢酸エチルに転溶し、SCX カラム及びグラファイトカーボンカラムで精製した後、LC-MS で定量する。

定量限界 チアメトキサム：0.005～0.2 ppm

代謝物 B：0.004～0.2 ppm

【海外】

試料からアセトン又はアセトニトリル・水（4：1）混液で抽出し、フェニルカラムを用いて精製した後、LC-MS/MS で定量する。

定量限界：0.01 ppm

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-2を参照。

4. 畜産物への推定残留量

(1) 家畜残留試験（動物飼養試験）

① 乳牛における残留試験

乳牛に対して、チアメトキサムが試料中濃度として0、2、6及び20 ppmに相当する量

を含有するゼラチンカプセルを28-30日間にわたり摂食させ、乳、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるチアメトキサム及び代謝物B含量を測定した。乳については、投与開始0、1、3、7、14、21及び26日後に搾乳したものを測定した（定量限界：チアメトキサム0.005 ppm、代謝物B 0.005 ppm）。また、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓については、投与開始28、29及び30日後に採取したものを測定した（定量限界：チアメトキサム0.01 ppm、代謝物B 0.01 ppm）。結果については表1を参照。

表 1. 乳牛の組織中の最大残留 (ppm)

		2 ppm 投与群	6 ppm 投与群	20 ppm 投与群
大腰筋	チアメトキサム	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.01 (最大) 0.01 (平均)	0.04 (最大) 0.03 (平均)
	代謝物 B	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
骨格筋	チアメトキサム	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.01 (最大) 0.01 (平均)	0.06 (最大) 0.04 (平均)
	代謝物 B	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
脂肪 (腎周囲)	チアメトキサム	—	—	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 B	—	—	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
大網脂肪	チアメトキサム	—	—	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 B	—	—	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
肝臓	チアメトキサム	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 B	0.049 (最大) 0.039 (平均)	0.139 (最大) 0.118 (平均)	0.384 (最大) 0.271 (平均)
腎臓	チアメトキサム	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.04 (最大) 0.027 (平均)
	代謝物 B	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
乳	チアメトキサム	0.007 (平均)	0.033 (平均)	0.12 (平均)
	代謝物 B	0.005 (平均)	0.013 (平均)	0.041 (平均)

—：分析せず

上記の結果に関連して、JMPR では乳牛及び肉牛における MDB^{注)}を 5.23 ppm、飼料作物の作物残留試験の中央値 (STMR ; Supervised Trials Median residue) を用いて求

めた乳牛及び肉牛における STMR dietary burden をそれぞれ 1.59 ppm、2.12 ppm と評価している。

注) 最大飼料由来負荷 (Maximum Dietary Burden : MDB) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

② 産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対してチアメトキサムを0、0.2、0.6、2及び10 ppm含有する飼料を28日間にわたり自由に摂取させ、投与終了20-24時間後の筋肉、皮膚、脂肪及び肝臓に含まれるチアメトキサム、代謝物B及び代謝物Mを測定した。また、鶏卵についても投与開始1、3、7、14、21及び28日後に採卵しチアメトキサム、代謝物B及び代謝物Mについて測定した (定量限界 : 0.01ppm) 。結果については表2を参照。



表 2. 鶏の組織中の最大残留 (ppm)

		2 ppm 投与群	10 ppm 投与群
筋肉 (胸部+腿部)	チアメトキサム	－	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 B	－	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 M	－	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
脂肪 (皮膚を含む)	チアメトキサム	－	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 B	－	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 M	－	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
腹膜脂肪	チアメトキサム	－	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 B	－	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 M	－	<0.01 (最大) <0.01 (平均)

表 2. 鶏の組織中の最大残留 (ppm) (つづき)

		2 ppm 投与群	10 ppm 投与群
肝臓	チアメトキサム	-	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 B	-	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 M	-	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
卵	チアメトキサム	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 B	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物 M	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.04 (最大) 0.028 (平均)

- : 分析せず

上記の結果に関連して、JMPRではMDBを1.59 ppmと評価している。

(2) 推定残留量

乳牛、肉牛及び産卵鶏について、MDB 又は STMR dietary burden と各試験における投与量から、畜産物中の推定最大残留量と平均的な残留量を算出した。結果については表 3-1 及び 3-2 を参照。

表 3-1. 畜産物の推定残留量 (JMPR) ; 牛 (ppm)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
乳牛	-	-	-	-	0.028
	(-)	(-)	(-)	(-)	(0.006)
肉牛	0.01	0.01	0.01	0.01	-
	(0.01)	(0.01)	(0.01)	(0.01)	-

上段：最大残留濃度 (ppm) 下段：平均的な残留濃度 (ppm)

表 3-2. 畜産物の推定残留量 ; 鶏 (ppm)

	筋肉	脂肪	肝臓	卵
産卵鶏	0.01	0.01	0.01	0.01

5. ADI 及び ARfD の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたチアメトキサムに係る食品健康影響評価において、以下のとお

り評価されている。

(1) ADI

無毒性量：1.84 mg/kg 体重/day
(動物種) ラット
(投与方法) 混餌
(試験の種類) 繁殖試験
(期間) 2世代
安全係数：100
ADI：0.018 mg/kg 体重/day

発がん性試験において、雌雄のマウスで肝細胞腺腫及び肝細胞癌の増加が認められたが、腫瘍の発生機序は遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

(2) ARfD

無毒性量：50 mg/kg 体重
(動物種) ウサギ
(期間) 妊娠 7～19 日
(投与方法) 強制経口
(試験の種類) 発生毒性試験
安全係数：100
ARfD：0.5 mg/kg 体重

6. 諸外国における状況

2010 年に JMPR における毒性評価が行われ、ADI 及び ARfD が設定されている。国際基準は果菜類、葉菜類等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてとうもろこし、ぶどう等に、カナダにおいて鶏卵、乳等に、EUにおいてアプリコット、にんじん等に、豪州においてかんきつ類等に、ニュージーランドにおいてキウイ等に基準値が設定されている。

7. 基準値案

(1) 残留の規制対象

チアメトキサムとする。

農産物及び畜産物の残留試験において代謝物Bの分析が行われているが、一部の試験を除いて親化合物より残留量が低いこと、また、代謝物Bは親化合物に比べ毒性が弱いことから、代謝物Bは残留の規制対象には含めないこととする。なお、代謝物Bは殺虫剤として農薬登録がなされているクロチアニジンと同一物であり、クロチアニジンは、本

剤由来のクロチアニジン（代謝物B）を含めて基準値を設定しているところである。

代謝物Mについては、畜産物において分析が行われているが、一部を除きいずれも定量限界未満であることから、代謝物Mは残留の規制対象には含めないこととする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質としてチアメトキサム（親化合物のみ）を設定している。

（２）基準値案

別紙2のとおりである。

（３）暴露評価

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI／ADI (%) 注)
一般（1歳以上）	20.7
幼小児（1～6歳）	34.8
妊婦	18.5
高齢者（65歳以上）	24.9

注）各食品の平均摂取量は、平成17年～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

TMDI試算法：基準値案×各食品の平均摂取量

EDI試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量(ESTI)を推定したところ、一般（1歳以上）及び幼小児（1～6歳）のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量(ARfD)を超えていない^{注)}。詳細な暴露評価は別紙4-1及び4-2参照。

注）基準値案又は最高残留濃度(HR)を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを推定した。

チアメトキサム作物残留試験一覧表

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1) 【チアメトキサム/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
てんさい (根部)	2	10%顆粒水溶剤	50 倍灌注処理 1 L/冊＋ 3000 倍散布200 L/10 a	1＋3	7, 14, 21	圃場A:<0.005/<0.004 圃場B:<0.005/<0.004
だいこん (葉部)	2	70%水和剤	種子粉衣 4.3 g/1000 種子	1	66, 73, 80	圃場A:*0.009/*<0.005 (*1回, 66日) (＃) 圃場B:*0.012/*0.006 (*1回, 73日) (＃)
		70%水和剤＋0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	4.3 g/1000 種子粉衣＋ 6 kg/10 a作条処理＋ 2000 倍散布150 L/10 a	1＋1＋2	7, 14, 21	圃場A:*1.32/*0.254 (*4回, 7日) (＃) 圃場B:*0.247/*0.137 (*4回, 7日) (＃)
	2	70%水和剤＋0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	2.86 g/1000 種子粉衣＋ 6 kg/10 a植溝処理＋ 2000 倍散布150 L/10 a	1＋1＋2	7, 14, 21, 28	圃場A:*0.358/*0.136 (*4回, 7日) (＃) 圃場B:*0.378/*0.122 (*4回, 7日) (＃)
		70%水和剤	種子粉衣 4.3 g/1000 種子	1	66, 73, 80	圃場A:*0.006/*<0.005 (*1回, 66日) (＃) 圃場B:*<0.005/*<0.005 (*1回, 66日) (＃)
だいこん (根部)	2	70%水和剤＋0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	4.3 g/1000 種子粉衣＋ 6 kg/10 a作条処理＋ 2000 倍散布150 L/10 a	1＋1＋2	7, 14, 21	圃場A:*0.011/*<0.005 (*4回, 21日、**4回, 7日) (＃) 圃場B:*0.028/*<0.005 (*4回, 7日) (＃)
		70%水和剤＋0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	2.86 g/1000 種子粉衣＋ 6 kg/10 a植溝処理＋ 2000 倍散布150 L/10 a	1＋1＋2	7, 14, 21, 28	圃場A:*0.015/*<0.005 (*4回, 7日) (＃) 圃場B:*0.010/*<0.005 (*4回, 7日) (＃)
	2	0.5%粒剤＋10%顆粒水溶剤	6 kg/10 a作条処理＋2000 倍散布 300, 100-150 L/10 a	1＋3	1, 7, 14	圃場A:*0.144/*<0.005 (*4回, 1日) (＃) 圃場B:*0.088/*<0.005 (*4回, 7日、**4回, 1日) (＃)
かぶ (根部)	2	0.5%粒剤＋10%顆粒水溶剤	6 kg/10 a作条処理＋2000 倍散布 300, 100-150 L/10 a	1＋3	1, 7, 14	圃場A:*1.98/*0.55 (*4回, 1日、**4回, 7日) (＃) 圃場B:*4.77/*0.42 (*4回, 1日) (＃)
はくさい (茎葉)	2	0.5%粒剤	植穴処理 2 g/株	1	67, 74, 81	圃場A:*0.016/*<0.005 (*1回, 67日)
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋3000 倍散布 200 L/10 a, 120-200 L/10 a	1＋3	48, 55, 62	圃場B:*0.010/*<0.005 (*1回, 48日) 圃場A:0.072/0.007 圃場B:0.354/0.020
はくさい (茎葉)	2	0.5%粒剤＋ 17.5%フロアブル	株元散布2 g/株＋ 4000倍散布200 - 263 L/10 a, 250 L/10 a	1＋3	3, 7, 14, 21	圃場A:0.070/0.014 圃場B:0.212/0.016
キャベツ (葉球)	2	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 2000 倍散布200 L/10 a	1＋3	3, 7, 14	圃場A:0.310/0.028 圃場B:0.078/<0.005
		10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 200～700 L/10 a, 300 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A:0.92/0.10 (＃) 圃場B:2.34/0.360
こまつな (茎葉)	2	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	6 kg/10 a播溝処理＋ 2000 倍散布200～700 L/10 a, 300 L/10 a	1＋2	3, 7, 14	圃場A:*1.58/*0.14 (*3回, 3日) (＃) 圃場B:*2.100/*0.40 (*3回, 3日)
	2	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	6 kg/10 a作条処理＋2000 倍散布 300 L/10 a, 185.2 L/10 a	1＋2	3, 7, 14	圃場A:*0.93/*0.08 (*3回, 3日) (＃) 圃場B:*1.18/*0.18 (*3回, 3日) (＃)
チンゲンサイ (茎葉)	2	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	15 g/1 L培土床土混和, 6 kg/10 a作条処理＋2000 倍散布 200 L/10 a, 220-250 L/10 a	2＋2	3, 7, 14	圃場A:*0.78/*0.09 (*4回, 3日) (＃) 圃場B:*2.82/*0.32 (*4回, 3日) (＃)
ブロッコリー (花蕾)	2	0.5%粒剤	植穴処理2 g/株	1	59, 61, 65	圃場A:*0.018/*<0.005 (*1回, 65日、**1回, 59日)
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 3000 倍散布300 L/10 a	1＋3	56, 58, 62	圃場B:*0.060/*<0.005 (*1回, 56日) 圃場A:0.825/0.086 圃場B:0.359/0.019
カリフラワー (花蕾)	2	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	育苗箱処理1 g/株＋ 2000 倍散布300 L/10 a	1＋3	7, 14, 21	圃場A:*0.128/*<0.005 (*4回, 7日) (＃) 圃場B:*0.055/*<0.005 (*4回, 7日) (＃)
しゅんぎく (茎葉)	2	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	6 kg/10 a作条処理＋ 2000 倍散布300 L/10 a	1＋3	3, 7, 14	圃場A:0.287/0.016 圃場B:1.44/0.098
レタス (茎葉)	2	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理1 g/株＋ 2000 倍散布250 L/10 a, 300 L/10 a	1＋2	3, 7, 14	圃場A:*0.290/*0.015 (*3回, 7日、**3回, 14日) (＃) 圃場B:*0.614/*0.024 (*3回, 7日、**3回, 14日) (＃)
レタス (茎葉)	2	48%フロアブル	1.66 mL/1000 種子塗沫処理	1	125	圃場A:0.082/<0.004
					128	圃場B:0.021/<0.004
	2	48%フロアブル＋0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	1.66 mL/1000 種子塗沫処理＋ 1 g/株 株元散布＋ 2000 倍散布 295 L/10 a, 208 - 209 L/10 a	1＋1＋2	3, 7, 14	圃場A:*1.17/*0.019 (*4回, 14日) (＃) 圃場B:*0.900/*0.016 (*4回, 7日) (＃)
サラダ菜 (茎葉)	2	0.5%粒剤	植穴処理1 g/株	1	59, 63, 70	圃場A:*0.40/*<0.05 (*1回, 70日、**1回, 59日) (＃)
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理1 g/株＋ 2000 倍散布300 L/10 a	1＋2	42, 46, 53	圃場B:*1.36/*<0.05 (*1回, 46日、**1回, 42日) (＃) 圃場A:*7.81/*0.10 (*3回, 3日) (＃) 圃場B:*9.87/*0.09 (*3回, 3日) (＃)
リーフレタス (茎葉)	2	0.5%粒剤	植穴処理1 g/株	1	61, 65, 72	圃場A:*0.28/*<0.05 (*1回, 65日、**1回, 61日) (＃)
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理1 g/株＋ 2000 倍散布250, 300 L/10 a	1＋2	62, 66, 73	圃場B:*<0.05/*<0.05 (*1回, 62日) (＃) 圃場A:*7.34/*0.20 (*3回, 3日) (＃) 圃場B:*3.14/*0.07 (*3回, 3日) (＃)
	2	0.5%粒剤	9 kg/10 a作条処理	1	117, 124, 131	圃場A:*0.094/*0.022 (*1回, 117日)
ねぎ (茎葉)	2	0.5%粒剤	9 kg/10 a作条処理＋ 1000 倍散布200 L/10 a散布	1	69, 77, 84	圃場B:*0.078/*0.022 (*1回, 69日)
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤		1＋3	3, 7, 14, 21	圃場A:0.566/0.059 圃場B:0.557/0.076

チアメトキサム作物残留試験一覧表

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1) 【チアメトキサム/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
にら (茎葉)	2	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	6 kg/10 a作条処理＋ 2000 倍200 L/10 a, 230 L/10 a 散布	1＋3	1, 7, 14, 21	圃場A: *0.74/*0.19 (*4回, 14日) (#) 圃場B: *0.15/*0.42 (*4回, 14日) (#)
	1	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	6 kg/10 a作条処理＋ 2000 倍230 L/10 a散布	1＋3	1, 7, 14	圃場A: *0.38/*0.67 (*4回, 14日) (#)
わけぎ (茎葉)	2	0.5%粒剤	9 kg/10 a作条処理	1	63, 70, 77 23, 30, 36	圃場A: *0.05/*<0.05 (*1回, 63日) (#) 圃場B: *0.61/*0.06 (*1回, 23日) (#)
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	9 kg/10 a作条処理, 9 kg/10 a株 元処理＋2000 倍散布200 L/10 a, 300 L/10 a	2＋3	3, 7, 14	圃場A: *1.28/*0.08 (*5回, 3日) (#) 圃場B: *3.96/**0.21 (*5回, 3日、**5回, 7日) (#)
アスパラガス (茎葉)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.010/0.014 圃場B: 0.018/0.006
にんじん (根部)	2	0.5%粒剤	12 kg/10 a全面土条混和	1	61, 68, 75 91, 98, 105	圃場A: *0.015/*0.010 (*1回, 61日) (#) 圃場B: *0.008/**0.008 (*1回, 91日、**1回, 105日) (#)
		0.5%粒剤	12 kg/10 a全面土条混和, 9 kg/10 a株元散布	2	14, 28, 42, 56	圃場A: *0.048/**0.032 (*2回, 42日、**2回, 14日) (#) 圃場B: *0.034/*0.018 (*2回, 28日) (#)
セロリ (茎葉)	2	0.5%粒剤	株元処理2 g/株＋ 植穴処理2 g/株	2	75, 82, 89 98, 105, 112	圃場A: *<0.1/*<0.1 (*2回, 75日) 圃場B: *0.30/**<0.1 (*2回, 112日、**2回, 98日)
せり (茎葉)	2	0.5%粒剤	湛水散布3 kg/10 a	1	99, 123, 147 98, 125, 147	圃場A: *<0.005/*<0.004 (*1回, 99日) 圃場B: *<0.005/*<0.004 (*1回, 98日)
トマト (果実)	1	0.5%粒剤	植穴処理2 g/株	1	44	圃場A: 0.008/<0.005
	1	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 3000 倍散布200 L/10 a	1＋2	1	圃場A: 0.104/0.018
	1	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 2000 倍散布200 L/10 a	1＋2	1	圃場A: 0.077/0.010
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 2000 倍散布200 L/10 a	1＋3	1, 3, 7	圃場A: *0.154/*0.024 (*4回, 3日)
	1	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 2000 倍散布200 L/10 a	1＋3	1, 3, 7	圃場A: *0.156/**0.038 (*4回, 3日、**4回, 1日)
ミニトマト (果実)	2	0.5%粒剤	植穴処理2 g/株	1	72 60	圃場A: 0.06/0.02 圃場B: <0.02/<0.02
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 2000 倍散布300-360 L/10 a, 350 L/10 a	1＋1	1, 7, 14	圃場A: *0.44/**0.10 (*2回, 1日、**2回, 7日) 圃場B: *0.08/*0.08 (*2回, 7日)
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理 2g/株＋ 2000 倍散布300-360 L/10 a, 350 L/10 a	1＋2	1, 7, 14	圃場A: 0.79/*0.16 (*3回, 7日) 圃場B: *0.17/*0.19 (*3回, 7日)
ピーマン (果実)	2	0.5%粒剤	植穴処理2 g/株	1	42 82	圃場A: 0.023/0.008 圃場B: <0.005/<0.005
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 3000 倍散布180 L/10 a, 300 L/10 a	1＋2	1	圃場A: 0.200/0.016 圃場B: 0.267/0.016
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 2000 倍散布180 L/10 a, 300 L/10 a	1＋2	1	圃場A: 0.411/0.044 圃場B: 0.310/0.034
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 2000 倍散布180 L/10 a, 300 L/10 a	1＋3	1, 3, 7	圃場A: 0.439/0.032 圃場B: 0.402/0.056
なす (果実)	2	0.5%粒剤	植穴処理2 g/株	1	97 108	圃場A: <0.005/<0.005 圃場B: <0.005/<0.005
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 3000 倍散布200 L/10 a, 250 L/10 a	1＋2	1	圃場A: 0.069/<0.005 圃場B: 0.040/<0.005
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 2000 倍散布200 L/10 a, 250 L/10 a	1＋2	1	圃場A: 0.121/<0.005 圃場B: 0.054/<0.005
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 2000 倍散布200 L/10 a, 250 L/10 a	1＋3	1, 3, 7	圃場A: 0.106/<0.005 圃場B: 0.055/<0.005
ししとう (果実)	2	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理1 g/株＋ 3000 倍散布150 L/10 a, 250 L/10 a	1＋3	1, 3, 7	圃場A: *0.53/*0.08 (*4回, 3日) 圃場B: 0.60/*0.05 (*4回, 3日)
とうがらし (果実)	2	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理1 g/株＋ 2000 倍散布200 L/10 a, 100-150 L/10 a	1＋3	1, 3, 7	圃場A: *0.76/*0.16 (*4回, 1日) (#) 圃場B: *0.34/**0.03 (*4回1日、**4回, 3日) (#)
きゅうり (果実)	2	0.5%粒剤	植穴処理1 g/株	1	43 34	圃場A: 0.008/<0.005 圃場B: 0.005/<0.005
		10%顆粒水溶剤	3000 倍散布250 L/10 a, 208 L/10 a	2	1	圃場A: 0.076/0.005 圃場B: 0.104/0.006
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理1 g/株＋ 2000 倍散布250 L/10 a, 208 L/10 a	1＋2	1	圃場A: 0.172/0.010 圃場B: 0.162/0.008
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理1 g/株＋ 2000 倍散布250 L/10 a, 208 L/10 a	1＋3	1, 3, 7	圃場A: 0.141/0.008 圃場B: 0.132/0.008
すいか (果実)	2	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 2000 倍散布176.5-200 L/10 a, 76.1-272.4 L/10 a	1＋3	1, 3, 7	圃場A: 0.017/<0.005 圃場B: 0.046/0.007

チアマトキサム作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1) 【チアマトキサム/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
メロン (果実)	2	0.5%粒剤	植穴処理2 g/株	1	83	圃場A:0.008/<0.005
					87	圃場B:0.007/<0.005
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 2000 倍散布250 L/10 a, 300 L/10 a	1＋3	3, 7, 14	圃場A:※0.049/※0.006 (*4回, 14日) 圃場B:※0.029/※<0.005 (*4回, 14日、※4回, 3日)
	2	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 2000 倍散布250 L/10 a, 300 L/10 a	1＋3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A:0.023/※0.008 (*4回, 35日) 圃場B:※0.064/※0.014 (*4回, 14日、※4回, 28日)
	2	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理 2g/株＋ 2000 倍散布200-217 L/10 a	1＋2	3, 7, 14	圃場A:※0.008/※<0.005 (*3回, 14日、※3回, 3日) 圃場B:※0.010/※<0.005 (*3回, 7日、※3回, 3日)
にがうり (果実)	2	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	植穴処理2 g/株＋ 2000 倍散布100-200 L/10 a, 202 L/10 a	1＋3	1, 3, 7	圃場A:※0.17/<0.01 (*4回, 7日) (#) 圃場B:※0.06/※0.01 (*4回, 7日) (#)
食用へちま (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 200 L/10 a, 180 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.11/<0.02 圃場B:※0.09/<0.02 (*3回, 3日)
ほうれんそう (茎葉)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布200, 300 L/10 a, 250 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A:1.26/0.680 圃場B:2.62/0.75
		0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	播溝処理6 kg/10 a＋ 2000 倍散布200, 300 L/10 a, 250 L/10 a	1＋2	3, 7, 14	圃場A:0.96/0.58 圃場B:4.02/1.20
オクラ (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 150-210 L/10 a, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.30/<0.01 圃場B:0.21/※0.01 (*3回, 3日)
実えんどう (子実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 300 L/10 a	3	7	圃場A:0.054/<0.025 圃場B:0.06/<0.02
未成熟いんげん (さや)	2	10%顆粒水溶剤	3000 倍散布 300 L/10 a, 150 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A:0.071/0.074 圃場B:0.053/0.118
えだまめ (さや)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 200 L/10 a, 400 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:※0.061/※0.020 (*2回, 7日) (#) 圃場B:※0.025/※0.020 (*2回, 7日) (#)
		35%フロアブル＋0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	12 mL/kg種子塗沫処理＋6 kg/10 a株元処理＋2000 倍散布200 L/10 a, 400 L/10 a	1＋1＋2	7, 14, 21	圃場A:※0.090/※0.028 (*4回, 7日) (#) 圃場B:※0.025/※0.019 (*4回, 7日) (#)
れんこん (塊茎)	2	0.5%粒剤	湛水处理6 kg/10 a	2	14, 21, 28, 35	圃場A:0.008/<0.005 圃場B:<0.005/<0.005
				3		圃場A:0.006/<0.005 圃場B:<0.005/<0.005
ウコギ (塊茎)	2	10%顆粒水溶剤	3000 倍散布 150 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A:0.4/<0.2 圃場B:<0.2/<0.2
エンサイ (茎葉)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 200 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A:0.07/<0.02 圃場B:0.42/0.04
みょうが (花穂)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:<0.02/<0.02 圃場B:<0.02/<0.02
モロヘイヤ (茎葉)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 200-211 L/10 a	3	7, 14	圃場A:0.66/0.43 圃場B:0.36/0.34
温州みかん (果肉)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:※0.040/0.013 (*3回, 28日) 圃場B:0.008/<0.005
	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a	2	21, 28	圃場A:※0.018/※0.007 (*2回, 28日、※2回, 21日) 圃場B:※<0.005/※<0.005 (*2回, 21日)
	1	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a	3	3, 7, 14, 21, 28	圃場A:0.080/※0.014 (*3回, 28日)
	1	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 1000 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:※0.094/※0.022 (#) (*3回, 21日、※3回, 28日)
	1	10%顆粒水和剤	2000 倍散布 500 L/10 a	3	14, 21, 28, 35	圃場A:※0.030/※0.008 (*3回, 21日)
	1	10%顆粒水和剤	2000 倍散布 1000 L/10 a	3	14, 21, 28, 35	圃場A:※0.050/※0.011 (*3回, 14日、※3回, 28日) (#)
温州みかん (果皮)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:0.651/0.28 圃場B:0.74/0.12
	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a	2	21, 28	圃場A:※0.47/※0.24 (*2回, 21日) 圃場B:※0.58/※0.12 (*2回, 21日)
	1	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a	3	3, 7, 14, 21, 28	圃場A:1.99/※0.51 (*3回, 21日)
	1	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 1000 L/10 a	3	3, 7, 14, 21, 28	圃場A:※1.12/※0.47 (*3回, 21日) (#)
	1	10%顆粒水和剤	2000 倍散布 500 L/10 a	3	14, 21, 28, 35	圃場A:1.00/※0.30 (*3回, 21日)
	1	10%顆粒水和剤	2000 倍散布 1000 L/10 a	3	14, 21, 28, 35	圃場A:※1.36/※0.36 (*3回, 14日) (#)

チアメトキサム作物残留試験一覧表

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1) 【チアメトキサム/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
なつみかん (果肉)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a	3	14, 28, 42, 49, 64	圃場A:0.024/*0.010 (*3回, 64日)
					14, 28, 42, 49, 60	圃場B:*0.018/*0.008 (*3回, 42日)
				2	28, 42, 49, 64	圃場A:*0.012/*0.005 (*2回, 28日)
					28, 42, 49, 60	圃場B:*0.008/*<0.005 (*2回, 28日)
なつみかん (果皮)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a	3	14, 28, 42, 49, 64	圃場A:0.38/*0.14 (*3回, 49日)
					14, 28, 42, 49, 60	圃場B:0.55/*0.13 (*3回, 42日)
				2	28, 42, 49, 64	圃場A:*0.20/*0.04 (*2回, 28日)
					28, 42, 49, 60	圃場B:*0.20/*0.08 (*2回, 28日、**2回, 42日)
なつみかん (全果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a	3	14, 28, 42, 49, 64	圃場A:0.1/0.04
					14, 28, 42, 49, 60	圃場B:0.14/0.04
				2	28, 42, 49, 64	圃場A:*0.06/*0.02 (*2回, 28日)
					28, 42, 49, 60	圃場B:*0.07/*0.02 (*2回, 28日)
なつみかん (果実全体)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 1224 L/10 a, 600 L/10 a	3	14, 21, 28, 45	圃場A:*0.48/*0.03 (*3回, 21日、**3回, 45日) (#) 圃場B:0.22/*0.03 (*3回, 21日)
すだち (果実)	1	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a	3	14, 28, 42	圃場A:0.040/0.038
	1	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a	3	14, 21, 28, 45	圃場A:0.13/0.06
かぼす (果実)	1	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a	3	14, 28, 42	圃場A:0.058/0.010
	1	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 640 L/10 a	3	14, 21, 28, 45	圃場A:0.05/0.02
ゆず (果実)	1	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a	3	14, 28, 42	圃場A:0.097/0.063
りんご (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a, 700 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A:0.064/*0.006 (*2回, 21日) 圃場B:0.050/0.010
	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a, 700 L/10 a	2	7, 14, 21, 28, 35 7, 14, 19, 28, 35	圃場A:*0.092/*0.008 (*2回, 35日) 圃場B:*0.044/<0.005 (*2回, 19日)
日本なし (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 400 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:*0.045/*0.016 (*3回, 14日、**3回, 21日) 圃場B:*0.018/*0.011 (*3回, 28日)
					28	圃場A:*0.039/*0.016 (*4回, 12日、**4回, 19日) (#)
	1			4	12, 19	圃場A:*0.32/<0.02 (*3回, 3日) 圃場B:*0.14/*0.04 (*3回, 3日、**3回, 14日)
	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 300 L/10 a, 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:*0.008/*0.046 (*3回, 14日) 圃場B:*0.059/*0.080 (*3回, 17日)
もも (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 400 L/10 a, 350 L/10 a	3	14, 21, 28 14, 17, 24	圃場A:*0.02/<0.02 (#) 圃場B:*0.02/<0.02 (#)
					30	圃場A:*0.12/*0.08 (*3回, 7日) 圃場B:0.14/*0.12 (*3回, 14日)
	2	0.5%粒剤	200 g/樹 地表表面散布	1		圃場A:0.096/*0.132 (*3回, 3日) 圃場B:0.370/*0.214 (*3回, 7日)
ネクタリン (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 381 L/10 a, 350 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:*0.03/*<0.02 (*3回, 7日) (#) 圃場B:*<0.02/*<0.02 (*3回, 7日) (#)
すもも (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 300 L/10 a, 500 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A:0.089/*0.117 (*2回, 14日) 圃場B:1.080/*0.242 (*2回, 21日)
うめ (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 600 L/10 a, 400 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:*1.36/*0.12 (*2回, 7日) 圃場B:*1.62/*0.139 (*2回, 14日)
おうとう (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A:*0.014/*<0.005 (*1回, 92日) (#) 圃場B:*<0.005/*<0.005 (*1回, 125日) (#)
いちご (果実)	2	0.5%粒剤	植穴処理2 g/株	1	92, 99, 106, 115 125, 132, 139, 146	圃場A:*0.802/*0.010 (*4回, 1日、**4回, 3日) (#) 圃場B:*0.427/*0.010 (*4回, 1日) (#)
	2	0.5%粒剤 + 10%顆粒水溶剤	株元処理2 g/株、 植穴処理2 g/株+2000 倍散布 250 L/10 a, 200 L/10 a	2+2	1, 3, 7	圃場A:0.540/*0.122 (*2回, 28日) 圃場B:*0.943/*0.053 (*2回, 14日)
ぶどう (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 300 L/10 a, 500 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A:0.320/*0.012 (*3回, 7日) 圃場B:0.164/*0.019 (*3回, 21日)
かき (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 500 L/10 a	3	3, 7, 14, 21	圃場A:0.19/<0.02 圃場B:*0.28/*0.02 (*3回, 14日)
バナナ (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.03/<0.02 圃場B:*0.02/<0.02 (*2回, 21日)
グアバ (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 313 L/10 a, 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.03/0.03 圃場B:0.02/*0.04 (*2回, 21日)
マンゴー (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 167 L/10 a, 300 L/10 a	2	14, 21, 28	圃場A:0.56/0.12 圃場B:0.43/<0.1
いちじく (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 330 L/10 a, 500 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A:0.06/<0.04 圃場B:0.22/0.09
アセロラ (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 165 L/10 a, 556 L/10 a	2	7, 14, 21	

チアメトキサム作物残留試験一覧表

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) ^{注1)} 【チアメトキサム/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
茶 (荒茶)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 200 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A: 7.13/0.25 圃場B: 2.28/0.07
	2	10%顆粒水中和剤	2000 倍散布 200 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A: 9.60/0.17 圃場B: 3.23/0.09
茶 (浸出液)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 200 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A: 6.08/0.23 圃場B: 1.54/0.06
	2	10%顆粒水中和剤	2000 倍散布 200 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A: 8.40/0.15 圃場B: 2.81/0.08
セージ (茎葉)	2	10%顆粒水溶剤	2000 倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A: 0.47/0.12 圃場B: 0.54/0.06
あさつき (可食部)	2	0.5%粒剤	作条処理9 kg/10 a	1	46, 53, 60 88, 95, 102	圃場A: *0.31/*0.05 (*1回, 53日、*1回, 46日) (#) 圃場B: *0.08/*<0.05 (*1回, 88日) (#)
	2	0.5%粒剤＋ 10%顆粒水溶剤	作条処理9 kg/10 a, 株元処理9 kg/10 a＋ 2000 倍散布150 L/10 a	2＋3	3, 7, 14	圃場A: *2.26/*0.18 (*5回, 3日) (#) 圃場B: *0.88/*0.05 (*5回, 3日) (#)
しそ (葉部)	2	10%顆粒水溶剤	3000 倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A: 0.8/<0.1 圃場B: 0.5/<0.1

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

チアメトキサム海外作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	【チアメトキサム/代謝物B】
ソルガム (穀粒)	9	70%水和剤	300 g ai/100 kg 種子 種子処理	1	112	圃場A: <0.01/<0.01 (#) 注2)
					116	圃場B: <0.01/<0.01 (#)
					130	圃場C: <0.01/<0.01 (#)
					132	圃場D: <0.01/<0.01 (#)
					134	圃場E: <0.01/<0.01 (#)
					144	圃場F: <0.01/<0.01 (#)
					149	圃場G: <0.01/<0.01 (#)
					156	圃場H: <0.01/<0.01 (#)
					174	圃場I: <0.01/<0.01 (#)
リーフレタス (茎葉)	6	25% 顆粒水和剤	40 g ai/acre 散布	2	6	圃場A: 0.21/0.01
					7	圃場B: 0.48/0.03
					7	圃場C: 0.80/0.03
					7	圃場D: 0.06/0.01
					7	圃場E: 0.85/0.04
					7	圃場F: 1.1/0.03
たまねぎ (鱗茎)	7	70.0% 水和剤	0.2 mg ai/ 種子 種子処理	1	119	圃場A: <0.01/<0.01
					169	圃場B: <0.01/<0.01
					120	圃場C: <0.01/<0.01
					170	圃場D: <0.01/<0.01
					120	圃場E: <0.01/<0.01
					119	圃場F: 0.01/<0.01
					61, 90, 120, 130	圃場G: <0.01/<0.01
りんご (果実)	13	25% 顆粒水和剤	40 g ai/acre 散布 + 20 g ai/acre 散布	2+2	14	圃場A: 0.07/<0.01
					14	圃場B: 0.14/<0.01
					14	圃場C: 0.07/<0.01
					14	圃場D: 0.05/<0.01
					14	圃場E: 0.03/<0.01
					14	圃場F: 0.09/<0.01
					14	圃場G: 0.04/<0.01
					14	圃場H: 0.05/<0.01
					14	圃場I: 0.08/<0.01
					14	圃場J: 0.03/<0.01
					14	圃場K: 0.06/<0.01
					14	圃場L: 0.05/0.01
なし (果実)	6	25% 顆粒水和剤	40 g ai/acre 散布 + 20 g ai/acre 散布	2+2	14	圃場M: 0.08/<0.01
					14	圃場A: 0.04/0.03
					14	圃場B: 0.03/0.02
					14	圃場C: 0.03/0.01
					14	圃場D: 0.05/0.04
					14	圃場E: 0.05/0.02
綿実 (種子)	11	47.6%水和剤 + 25% 顆粒水和剤	300 g ai/100 kg 種子 種子処理 + 32 g ai/acre 散布	1+2	20	圃場F: 0.07/0.03
					20	圃場A: <0.01/<0.01 (#)
					20	圃場B: 0.01/<0.01 (#)
					20	圃場C: 0.05/<0.01 (#)
					21	圃場D: 0.04/<0.01 (#)
					21	圃場E: <0.01/<0.01 (#)
					21	圃場F: <0.01/<0.01 (#)
					21	圃場G: <0.01/<0.01 (#)
綿実 (種子)	11	25% 顆粒水和剤	45 g ai/acre 散布	2	21	圃場H: <0.01/<0.01 (#)
					21	圃場I: <0.01/<0.01 (#)
					21	圃場J: 0.01/<0.01 (#)
					21	圃場K: 0.03/<0.01 (#)
					20	圃場A: <0.01/<0.01 (#)
					20	圃場B: <0.01/<0.01 (#)
					20	圃場C: 0.05/<0.01 (#)
					21	圃場D: 0.14/<0.01 (#)
					21	圃場E: <0.01/<0.01 (#)
					21	圃場F: <0.01/<0.01 (#)
					21	圃場G: 0.01/<0.02 (#)
					21	圃場H: <0.01/<0.01 (#)
					21	圃場I: <0.01/<0.01 (#)
					23	圃場J: 0.01/<0.01 (#)
					24	圃場K: 0.02/<0.01 (#)
					24	圃場K: 0.02/<0.01 (#)

チアメトキサム海外作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) ^{注1)}
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	【チアメトキサム/代謝物B】
ペカン (種子)	5	25% 顆粒水和剤	30 g ai/acre 散布	2	12	圃場A: <0.01/<0.01 (#)
					14	圃場B: <0.01/<0.01 (#)
						圃場C: <0.01/<0.01 (#)
						圃場D: <0.01/<0.01 (#)
						圃場E: <0.01/<0.01 (#)
ホップ (乾花)	3	21.6%水和剤	0.125 lbs ai/ha 散布	1	62	圃場A: 0.0548/0.0272
					64	圃場B: 0.0269/<0.025
					66	圃場C: <0.025/<0.025

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注3) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.3	0.3	○			0.064,0.100
小麦	0.05	0.05		0.05		
大麦	0.4	0.4		0.4		
とうもろこし	0.7	0.05	○	0.7		
その他の穀類	0.02	0.02			0.02 米国	【<0.01(#)(n=9)(ソルガム)(米 国)】
大豆	0.04	0.04	○	0.04		
小豆類	0.05	0.05	○	0.04		0.012(#), <0.005(#)(いんげん)
えんどう	0.04	0.04	○	0.04		
そら豆	0.04	0.04	○	0.04		
らっかせい	0.02	0.02		0.02		
その他の豆類	0.04	0.04	○	0.04		
ばれいしょ	0.3	0.3	○	0.3		
さといも類(やつがしらを含む。)	0.3	0.3	○	0.3		
かんしょ	0.3	0.3	○	0.3		
やまいも(長いもをいう。)	0.3	0.3	○	0.3		
こんにゃくいも	0.3	0.3	○	0.3		
その他のいも類	0.3	0.3		0.3		
てんさい	0.3	0.3	○	0.3		
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.3	0.3	○	0.3		
だいこん類(ラディッシュを含む。)	3	3	○	3		
かぶ類の根	0.5	0.5	○	0.3		0.144(#)(%), 0.088(#)
かぶ類の葉	10	10	○	3		1.98(#), 4.77(#)(%)
西洋わさび	0.3	0.3		0.3		
クレソン	3	3		3		
はくさい	3	3	○	3		
キャベツ	5	5	○	5		
芽キャベツ	5	5		5		
ケール	3	3		3		
こまつな	5	5	○	3		2.34, 0.92(#)
きょうな	3	3	○	3		
チンゲンサイ	5	5	○	3		2.82(#), 0.78(#)
カリフラワー	5	5	○	5		
ブロッコリー	5	5	○	5		
その他のあぶらな科野菜	5	5	○	5		
ごぼう	0.3	0.3		0.3		
サルシフィー	0.3	0.3		0.3		
アーティチョーク	0.5	0.5		0.5		
チコリ	3	3		3		
エンダイブ	3	3		3		
しゅんぎく	3	3	○	3		0.287, 1.44(\$)
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	3	3	○	3		
その他のきく科野菜	3	3		3		
たまねぎ	0.02		IT		0.03 米国	【<0.01-0.01(n=7)(たまねぎ) (米国)】
ねぎ(リーキを含む。)	2	2	○			0.566, 0.557
にら	2	2	○			0.74(#)(%), 0.15(#)
アスパラガス	0.1	0.1	○			0.010, 0.018
わけぎ	10	10	○			3.96(#)(%), 1.28(#)
にんじん	0.3	0.3	○	0.3		
パースニップ	0.3	0.3		0.3		
パセリ	3	3			4.0 米国	【米国リーフレタス(0.06- 1.1(n=6))参照】
セロリ	1	1	○	1		
その他のせり科野菜	3	3		0.3	4.0 米国	【米国リーフレタス参照】
トマト	2	2	○	0.7		0.79(\$), 0.17(ミニトマト)
ピーマン	1	1	○	0.7		0.439, 0.402
なす	0.7	0.7	○	0.7		
その他のなす科野菜	3	2	○	3		

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.5	0.5	○	0.5		0.172,0.162
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.5	0.5		0.5		
しろり	0.5	0.5		0.5		
すいか	0.2	0.2	○			0.046,0.017
メロン類果実	0.3	0.3	○			0.064(\$),0.023
まくわうり	0.2	0.2				
その他のうり科野菜	3	3		3		
ほうれんそう	10	10	○	3		4.02(\$),0.96
オクラ	0.7	0.7	○	0.7		0.30,0.21
未成熟えんどう	0.3	0.3	○	0.01		0.06,0.054(実えんどう)
未成熟いんげん	0.3	0.3	○	0.3		0.071,0.053
えだまめ	0.3	0.3		0.01		0.090(#),0.025(#)
マッシュルーム	0.7	0.7		0.7		
しいたけ	0.7	0.7		0.7		
その他のきのこ類	0.7	0.7		0.7		
その他の野菜	3	3		3		
みかん	0.3	0.3	○			0.08,0.05
なつみかんの果実全体	1	1	○	0.5		0.48(#)(\$),0.22
レモン	1	1	○	0.5		(なつみかんの果実全体参照)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	1	1	○	0.5		(なつみかんの果実全体参照)
グレープフルーツ	1	1	○	0.5		(なつみかんの果実全体参照)
ライム	1	1	○	0.5		(なつみかんの果実全体参照)
その他のかんきつ類果実	1	1	○	0.5		(なつみかんの果実全体参照)
りんご	0.3	0.3	○	0.3		0.092,0.044
日本なし	1	1	○	0.3		0.32(\$),0.14
西洋なし	1	1		0.3		(日本なし参照)
マルメロ	0.3	0.3		0.3		
びわ	0.2	0.2				
もも	0.5	0.5	○			0.14,0.12
ネクタリン	1	1	○	1		
あんず(アブリコットを含む。)	3	3	○	1		(うめ参照)
すもも(プルーンを含む。)	1	1	○	1		0.03(#),<0.02(#)
うめ	3	3	○	1		1.080(\$),0.089
おうとう(チェリーを含む。)	5	5	○	1		1.62(\$),1.36
いちご	2	2	○	0.5		0.802(#),0.427(#)
ラズベリー	0.5	0.5		0.5		
ブラックベリー	0.5	0.5		0.5		
ブルーベリー	0.5	0.5		0.5		
クランベリー	0.5	0.5		0.5		
ハuckleベリー	0.5	0.5		0.5		
その他のベリー類果実	0.5	0.5		0.5		
ぶどう	2	2	○	0.5		0.943,0.540
かき	1	1	○			0.320(\$),0.164
バナナ	0.7	0.7	○	0.02		0.28,0.19
パパイア	0.01	0.01		0.01		
アボカド	0.5			0.5		
パイナップル	0.01	0.01		0.01		
グアバ	0.2	0.2	○			0.03(\$),0.02
マンゴー	0.2	0.2	○	0.2		0.03(\$),0.02
その他の果実	2	2		0.3		0.56(\$),0.43(いちじく)
ひまわりの種子	0.02	0.02		0.02		
ごまの種子	0.02	0.02		0.02		
べにばなの種子	0.02	0.02		0.02		
綿実	0.1	0.1		0.02	0.1 米国	【<0.01-0.14(#)(n=22)(米国)】
なたね	0.02	0.02		0.02		
その他のオイルシード	0.02	0.02		0.02		
ペカン	0.02	0.02		0.01	0.02 米国	【<0.01(#)(n=5)(米国)】

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
その他のナッツ類	0.02	0.02		0.02		
茶	20	20	○	20		
コーヒー豆	0.2	0.2		0.2		
カカオ豆※1	0.02	0.02		0.02		
ホップ	0.1	0.1		0.09	0.1 米国	【<0.025-0.0548(n=3)(米国)】
その他のスパイス	5	5		0.5		1.99(\$),1.36(#)(みかんの果皮)
その他のハーブ	5	5		3		2.26,0.88(あさつき)
牛の筋肉	0.02	0.02		0.02		【推:0.01】
豚の筋肉	0.02	0.02		0.02		【牛の筋肉参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.02	0.02		0.02		【牛の筋肉参照】
牛の脂肪	0.02	0.02		0.02		【推:0.01】
豚の脂肪	0.02	0.02		0.02		【牛の脂肪参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.02	0.02		0.02		【牛の脂肪参照】
牛の肝臓	0.01	0.01		0.01		【推:0.01】
豚の肝臓	0.01	0.01		0.01		【牛の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.01	0.01		0.01		【牛の肝臓参照】
牛の腎臓	0.01	0.01		0.01		【推:0.01】
豚の腎臓	0.01	0.01		0.01		【牛の腎臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.01	0.01		0.01		【牛の腎臓参照】
牛の食用部分	0.01	0.01		0.01		【牛の肝臓及び腎臓参照】
豚の食用部分	0.01	0.01		0.01		【牛の肝臓及び腎臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.01	0.01		0.01		【牛の肝臓及び腎臓参照】
乳	0.05	0.05		0.05		【推:0.03】
鶏の筋肉	0.01	0.01		0.01		【推:0.01】
その他の家さんの筋肉	0.01	0.01		0.01		【鶏の筋肉参照】
鶏の脂肪	0.01	0.01		0.01		【推:0.01】
その他の家さんの脂肪	0.01	0.01		0.01		【鶏の脂肪参照】
鶏の肝臓	0.01	0.01		0.01		【推:0.01】
その他の家さんの肝臓	0.01	0.01		0.01		【鶏の肝臓参照】
鶏の腎臓	0.01	0.01		0.01		【鶏の肝臓参照】
その他の家さんの腎臓	0.01	0.01		0.01		【鶏の肝臓参照】
鶏の食用部分	0.01	0.01		0.01		【鶏の肝臓参照】
その他の家さんの食用部分	0.01	0.01		0.01		【鶏の肝臓参照】
鶏の卵	0.01	0.01		0.01		【推:0.01】
その他の家さんの卵	0.01	0.01		0.01		【鶏の卵参照】
とうがらし(乾燥させたもの)※2		7		7		

申請(国内における登録、承認等の申請、インポート・トランス申請)以外の理由により本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

国内と米国において規制対象が異なることから、米国の基準値を参照したものについては、換算係数(0.54)を用いて基準値案を算出した。「登録有無」の欄に「IT」の記載があるものは、インポート・トランス申請に基づく基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留量であることを示している。

※1 カカオ豆の基準値については、外皮を含まないものに適用するものとする。

※2 加工食品であるとうがらし(乾燥させたもの)については、国際基準が設定されているものの、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする(加工係数:JMPRにおいて、10(とうがらし(乾燥させたもの))と評価されている。)

チアマトキサム推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	一般 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
西洋なし	1	0.23	0.6	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.5	0.1
マルメロ	0.3	0.07	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
びわ	0.2	● 0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	0.4	0.1	0.1
もも	0.5	0.13	1.7	0.4	1.9	0.5	2.7	0.7	2.2	0.6
ネクタリン	1	0.195	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
あんず (アブリコットを含む。)	3	0.5845	0.6	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	1.2	0.2
すもも (ブルーンを含む。)	1	0.195	1.1	0.2	0.7	0.1	0.6	0.1	1.1	0.2
うめ	3	0.5845	4.2	0.8	0.9	0.2	1.8	0.4	5.4	1.1
おうとう (チェリーを含む。)	5	1.49	2.0	0.6	3.5	1.0	0.5	0.1	1.5	0.4
いちご	2	0.615	10.8	3.3	15.6	4.8	10.4	3.2	11.8	3.6
ラズベリー	0.5	0.055	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ブラックベリー	0.5	0.055	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ブルーベリー	0.5	0.055	0.6	0.1	0.4	0.0	0.3	0.0	0.7	0.1
クランベリー	0.5	0.055	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ハuckleベリー	0.5	0.055	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他のベリー類果実	0.5	0.055	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ぶどう	2	0.7415	17.4	6.5	16.4	6.1	40.4	15.0	18.0	6.7
かき	1	0.242	9.9	2.4	1.7	0.4	3.9	0.9	18.2	4.4
バナナ	0.7	0.235	9.2	3.1	10.6	3.6	11.4	3.8	13.2	4.4
パパイヤ	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アボカド	0.5	0.08	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
パイナップル	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
グアバ	0.2	0.025	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
マンゴー	0.2	0.025	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
その他の果実	2	0.495	2.4	0.6	0.8	0.2	1.8	0.4	3.4	0.8
ひまわりの種子	0.02	● 0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ごまの種子	0.02	● 0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
べにばなの種子	0.02	● 0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
綿実	0.1	0.0255	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	0.02	● 0.02	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のオイルシード	0.02	● 0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.02	● 0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	20	4.1	132.0	27.1	20.0	4.1	74.0	15.2	188.0	38.5
コーヒー豆	0.2	0.035	0.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1
カカオ豆	0.02	● 0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ホップ	0.1	0.0356	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のスパイス	5	1.675	0.5	0.2	0.5	0.2	0.5	0.2	1.0	0.3
その他のハーブ	5	1.57	4.5	1.4	1.5	0.5	0.5	0.2	7.0	2.2
陸棲哺乳類の肉類	0.02	0.01	1.2	0.6	0.9	0.4	1.3	0.6	0.8	0.4
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
陸棲哺乳類の乳類	0.05	0.01	13.2	2.6	16.6	3.3	18.2	3.6	10.8	2.2
家禽の肉類	0.01	● 0.01	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
家禽の卵類	0.01	● 0.01	0.4	0.4	0.3	0.3	0.5	0.5	0.4	0.4
計			980.4	205.0	473.7	103.5	884.1	194.9	1185.6	251.0
ADI比 (%)			98.9	20.7	159.5	34.8	84.0	18.5	117.4	24.9

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

小麦、大麦、とうもろこし、大豆、えんどう、そら豆、らっかせい、その他の豆類、ばれいしょ、さといも類 (やつがしらを含む。)、かんしょ、やまいも (長いもをいう。)、こんにゃくも、その他のいも類、てんさい、だいこん類 (ラディッシュを含む。)、の根、だいこん類 (ラディッシュを含む。)、の葉、かぶ類の根、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー、その他のあぶらな科野菜、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)、その他のきく科野菜、にんじん、パースニップ、セロリ、なす、その他のなす科野菜、きゅうり、かぼちゃ (スカッシュを含む。)、しろり、その他のうり科野菜、マッシュルーム、しいたけ、その他のきのこ類、その他の野菜、マルメロ、ネクタリン、すもも (ブルーンを含む。)、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー、ハuckleベリー、その他のベリー類果実、アボカド、茶、コーヒー豆、陸棲哺乳類の肉類及び陸棲哺乳類の乳類については、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI計算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉、脂肪の摂取量にその範囲の基準値案中で最も高い値を乗じた。また、EDI計算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉、脂肪の摂取量にその畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用いて試算した。

チアメトキサム推定摂取量（短期）：一般(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用 いた数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
米（玄米）	米	0.3	0.3	1.9	0
小麦	小麦	0.05	0.05	0.1	0
大麦	大麦	0.4	0.4	0.3	0
	麦茶	0.4	0.4	0.3	0
とうもろこし	スイートコーン	0.7	0.7	7.9	2
大豆	大豆	0.04	0.04	0.0	0
小豆類	いんげん	0.05	0.05	0.1	0
らっかせい	らっかせい	0.02	0.02	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.3	0.3	2.8	1
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.3	0.3	1.6	0
かんしょ	かんしょ	0.3	0.3	3.8	1
やまいも（長いものをいう。）	やまいも	0.3	0.3	2.4	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.3	0.3	3.5	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	3	3	24.8	5
かぶ類の根	かぶの根	0.5	0.5	3.7	1
かぶ類の葉	かぶの葉	10	10	26.6	5
はくさい	はくさい	3	3	38.9	8
キャベツ	キャベツ	5	5	47.7	10
ケール	ケール	3	3	24.1	5
こまつな	こまつな	5	5	21.2	4
きょうな	きょうな	3	3	10.0	2
チンゲンサイ	チンゲンサイ	5	5	37.1	7
カリフラワー	カリフラワー	5	5	37.1	7
ブロッコリー	ブロッコリー	5	5	30.0	6
その他のあぶらな科野菜	たかな	5	5	39.2	8
	菜花	5	5	13.8	3
ごぼう	ごぼう	0.3	0.3	1.5	0
しゅんぎく	しゅんぎく	3	3	9.8	2
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	3	3	16.9	3
	非結球レタス類	3	3	12.1	2
	レタス	3	3	17.2	3
たまねぎ	たまねぎ	0.02	0.02	0.2	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	2	2	7.6	2
にら	にら	2	2	2.7	1
アスパラガス	アスパラガス	0.1	0.1	0.2	0
わけぎ	わけぎ	10	10	19.8	4
にんじん	にんじん	0.3	0.3	1.3	0
	にんじんジュース	0.3	0.3	2.0	0
パセリ	パセリ（生）	3	3	0.5	0
	パセリ（乾燥）	3	3	2.7	1
セロリ	セロリ	1	1	5.5	1
その他のせり科野菜	せり	3	3	4.9	1
トマト	トマト	2	2	21.9	4
ピーマン	ピーマン	1	1	2.6	1
なす	なす	0.7	0.7	4.5	1
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	3	3	4.8	1
	ししとう	3	3	3.1	1
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.5	0.5	3.2	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.5	0.5	4.9	1
	ズッキーニ	0.5	0.5	3.6	1
しろうり	しろうり	0.5	0.5	4.1	1
すいか	すいか	0.2	0.2	6.6	1
メロン類果実	メロン	0.3	0.3	5.1	1
その他のうり科野菜	とうがん	3	3	51.1	10
	にがうり	3	3	24.2	5
ほうれんそう	ほうれんそう	10	10	48.4	10
オクラ	オクラ	0.7	0.7	1.0	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.3	0.3	0.5	0
	未成熟えんどう（豆）	0.3	0.3	0.5	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.3	0.3	0.6	0
えだまめ	えだまめ	0.3	0.3	0.8	0
マッシュルーム	マッシュルーム	0.7	0.7	0.8	0
しいたけ	しいたけ	0.7	0.7	0.8	0

チアメトキサム推定摂取量（短期）：一般(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用 いた数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
その他のきのこ類	きくらげ	0.7	0.7	0.6	0
	しめじ	0.7	0.7	1.0	0
	なめこ	0.7	0.7	1.1	0
	エリンギ	0.7	0.7	1.1	0
	ひらたけ	0.7	0.7	0.8	0
	まいたけ	0.7	0.7	0.9	0
	えのきたけ	0.7	0.7	0.9	0
その他の野菜	ずいき	3	3	30.4	6
	もやし	3	3	6.9	1
	れんこん	3	3	18.7	4
	そら豆（生）	3	3	8.8	2
みかん	みかん	0.3	0.3	2.8	1
なつみかんの果実全体	なつみかん	1	1	12.4	2
レモン	レモン	1	1	2.1	0
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	1	1	9.4	2
	オレンジ果汁	1	1	9.9	2
グレープフルーツ	グレープフルーツ	1	1	17.2	3
その他のかんきつ類果実	きんかん	1	1	2.4	0
	ぼんかん	1	1	10.5	2
	ゆず	1	1	1.6	0
	すだち	1	1	1.6	0
	りんご	0.3	0.3	4.3	1
	りんご果汁	0.3	0.3	3.2	1
日本なし	日本なし	1	1	15.1	3
西洋なし	西洋なし	1	1	14.0	3
びわ	びわ	0.2	0.2	1.4	0
もも	もも	0.5	0.5	6.8	1
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	1	1	5.9	1
うめ	うめ	3	3	4.1	1
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	5	5	12.5	3
いちご	いちご	2	2	7.6	2
ブルーベリー	ブルーベリー	0.5	0.5	0.7	0
ぶどう	ぶどう	2	2	26.9	5
かき	かき	1	1	14.3	3
バナナ	バナナ	0.7	0.7	7.8	2
アボカド	アボカド	0.5	0.5	3.6	1
パイナップル	パイナップル	0.01	0.01	0.1	0
マンゴー	マンゴー	0.2	0.2	2.7	1
その他の果実	いちじく	2	2	15.3	3
ごまの種子	ごまの種子	0.02	0.02	0.0	0
茶	緑茶類	20	20	12.2	2
カカオ豆	カカオ豆	0.02	0.02	0.0	0
ホップ	ホップ	0.1	0.1	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

チアメトキサム推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用 いた数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g/kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
米（玄米）	米	0.3	0.3	3.3	1
小麦	小麦	0.05	0.05	0.1	0
大麦	大麦	0.4	0.4	0.3	0
	麦茶	0.4	0.4	0.7	0
とうもろこし	スイートコーン	0.7	0.7	16.8	3
大豆	大豆	0.04	0.04	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.02	0.02	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.3	0.3	6.8	1
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.3	0.3	3.8	1
かんしょ	かんしょ	0.3	0.3	7.6	2
やまいも（長いものをいう。）	やまいも	0.3	0.3	4.1	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.3	0.3	6.6	1
はくさい	はくさい	3	3	47.0	9
キャベツ	キャベツ	5	5	78.2	20
こまつな	こまつな	5	5	44.4	9
ブロッコリー	ブロッコリー	5	5	72.0	10
ごぼう	ごぼう	0.3	0.3	1.9	0
レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）	レタス類	3	3	29.5	6
	非結球レタス類	3	3	41.7	8
	レタス	3	3	26.5	5
たまねぎ	たまねぎ	0.02	0.02	0.4	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	2	2	13.0	3
にら	にら	2	2	4.2	1
にんじん	にんじん	0.3	0.3	3.1	1
パセリ	パセリ（生）	3	3	0.5	0
トマト	トマト	2	2	54.3	10
ピーマン	ピーマン	1	1	6.5	1
なす	なす	0.7	0.7	10.9	2
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.5	0.5	7.3	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.5	0.5	8.0	2
すいか	すいか	0.2	0.2	17.3	3
メロン類果実	メロン	0.3	0.3	8.8	2
ほうれんそう	ほうれんそう	10	10	112.3	20
オクラ	オクラ	0.7	0.7	3.0	1
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.3	0.3	0.4	0
	未成熟えんどう（豆）	0.3	0.3	0.5	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.3	0.3	1.2	0
えだまめ	えだまめ	0.3	0.3	0.8	0
しいたけ	しいたけ	0.7	0.7	1.3	0
その他のきのこ類	しめじ	0.7	0.7	1.5	0
	えのきたけ	0.7	0.7	1.3	0
その他の野菜	もやし	3	3	12.6	3
	れんこん	3	3	30.8	6
みかん	みかん	0.3	0.3	8.2	2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	1	1	26.9	5
	オレンジ果汁	1	1	17.8	4
りんご	りんご	0.3	0.3	9.6	2
	りんご果汁	0.3	0.3	10.1	2
日本なし	日本なし	1	1	28.8	6
もも	もも	0.5	0.5	21.2	4
うめ	うめ	3	3	10.2	2
いちご	いちご	2	2	21.6	4
ぶどう	ぶどう	2	2	61.2	10
かき	かき	1	1	20.9	4
バナナ	バナナ	0.7	0.7	26.9	5
パイナップル	パイナップル	0.01	0.01	0.3	0
ごまの種子	ごまの種子	0.02	0.02	0.0	0
茶	緑茶類	20	20	19.3	4
カカオ豆	カカオ豆	0.02	0.02	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

(参考)

これまでの経緯

平成12年	8月15日	初回農薬登録
平成16年	7月20日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：れんこん、大豆等）
平成16年	8月3日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成17年	11月29日	残留農薬基準告示
平成17年	12月21日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：だいこん、かんきつ等）
平成18年	7月18日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成19年	7月9日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：ほうれんそう、わけぎ等）
平成20年	4月3日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成21年	7月2日	残留農薬基準告示
平成22年	11月24日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：かぶ、にんじん等）
平成23年	6月8日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年	3月1日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成25年	3月12日	残留農薬基準告示
平成26年	11月19日	インポートトレランス設定の要請（たまねぎ）
平成27年	1月8日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成27年	7月28日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成27年	12月4日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成27年	12月15日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

石井 里枝	埼玉県衛生研究所水・食品担当部長
○大野 泰雄	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団理事長
尾崎 博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤 貢一	星薬科大学薬品分析化学教室教授
佐々木 一昭	東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授
佐藤 清	一般財団法人残留農薬研究所技術顧問
佐野 元彦	東京海洋大学海洋生物資源学部門教授
永山 敏廣	明治薬科大学薬学部薬学教育研究センター基礎薬学部門教授
根本 了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
二村 睦子	日本生活協同組合連合会組織推進本部組合員活動部部長
宮井 俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
由田 克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成 浩一	静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授
鰐淵 英機	大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学教授

(○：部会長)

答申

チアメトキサム

食品名	残留基準値 ppm
米(玄米をいう。)	0.3
小麦	0.05
大麦	0.4
とうもろこし	0.7
その他の穀類 ^{注1)}	0.02
大豆	0.04
小豆類 ^{注2)}	0.05
えんどう	0.04
そら豆	0.04
らっかせい	0.02
その他の豆類 ^{注3)}	0.04
ばれいしょ	0.3
さといも類(やつがしらを含む。)	0.3
かんしょ	0.3
やまいも(長いもをいう。)	0.3
こんにゃくいも	0.3
その他のいも類 ^{注4)}	0.3
てんさい	0.3
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.3
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	3
かぶ類の根	0.5
かぶ類の葉	10
西洋わさび	0.3
クレソン	3
はくさい	3
キャベツ	5
芽キャベツ	5
ケール	3
こまつな	5
きょうな	3
チンゲンサイ	5
カリフラワー	5
ブロッコリー	5
その他のあぶらな科野菜 ^{注5)}	5
ごぼう	0.3
サルシフィー	0.3
アーティチョーク	0.5
チコリ	3
エンダイブ	3
しゅんぎく	3
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	3
その他のきく科野菜 ^{注6)}	3
たまねぎ	0.02
ねぎ(リーキを含む。)	2
にら	2
アスパラガス	0.1
わけぎ	10

食品名	残留基準値 ppm	
にんじん パースニップ パセリ セロリ その他のせり科野菜 ^{注7)}	0.3 0.3 3 1 3	注7)「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
トマト ピーマン なす その他のなす科野菜 ^{注8)}	2 1 0.7 3	
きゅうり(ガーキンを含む。) かぼちゃ(スカッシュを含む。) しろうり すいか メロン類果実 まくわうり その他のうり科野菜 ^{注9)}	0.5 0.5 0.5 0.2 0.3 0.2 3	
ほうれんそう オクラ 未成熟えんどう 未成熟いんげん えだまめ	10 0.7 0.3 0.3 0.3	
マッシュルーム しいたけ その他のきのこ類 ^{注10)}	0.7 0.7 0.7	
その他の野菜 ^{注11)}	3	注11)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
みかん なつみかんの果実全体 レモン オレンジ(ネーブルオレンジを含む。) グレープフルーツ ライム その他のかんきつ類果実 ^{注12)}	0.3 1 1 1 1 1 1	
りんご 日本なし 西洋なし マルメロ びわ	0.3 1 1 0.3 0.2	
もも ネクタリン あんず(アプリコットを含む。) すもも(プルーンを含む。) うめ おうとう(チェリーを含む。)	0.5 1 3 1 3 5	
いちご ラズベリー ブラックベリー ブルーベリー クランベリー ハックルベリー	2 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5	

食品名	残留基準値 ppm	
その他のベリー類果実 ^{注13)}	0.5	注13)「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。
ぶどう	2	
かき	1	
バナナ	0.7	注14)「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず、すもも、うめ、おうとう、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。
パパイヤ	0.01	
アボカド	0.5	
パイナップル	0.01	
グアバ	0.2	
マンゴー	0.2	
その他の果実 ^{注14)}	2	
ひまわりの種子	0.02	注15)「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね
ごまの種子	0.02	
べにばなの種子	0.02	
綿実	0.1	
なたね	0.02	注16)「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。
その他のオイルシード ^{注15)}	0.02	
ペカン	0.02	注17)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。
その他のナッツ類 ^{注16)}	0.02	
茶	20	注18)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。
コーヒー豆	0.2	
カカオ豆(外皮を含まない。)	0.02	
ホップ	0.1	
その他のスパイス ^{注17)}	5	注19)「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。
その他のハーブ ^{注18)}	5	
牛の筋肉	0.02	
豚の筋肉	0.02	注20)「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。
その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注19)} の筋肉	0.02	
牛の脂肪	0.02	
豚の脂肪	0.02	注21)「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.02	
牛の肝臓	0.01	
豚の肝臓	0.01	注22)「その他の家きんの脂肪」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.01	
牛の腎臓	0.01	
豚の腎臓	0.01	注23)「その他の家きんの肝臓」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.01	
牛の食用部分 ^{注20)}	0.01	
豚の食用部分	0.01	注24)「その他の家きんの肝臓」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.01	
乳	0.05	
鶏の筋肉	0.01	注25)「その他の家きんの肝臓」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。
その他の家きん ^{注21)} の筋肉	0.01	
鶏の脂肪	0.01	
その他の家きんの脂肪	0.01	注26)「その他の家きんの肝臓」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。
鶏の肝臓	0.01	
その他の家きんの肝臓	0.01	

食品名	残留基準値
	ppm
鶏の腎臓	0.01
その他の家さんの腎臓	0.01
鶏の食用部分	0.01
その他の家さんの食用部分	0.01
鶏の卵	0.01
その他の家さんの卵	0.01